

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style · Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j40408	特別支援保育 I	今西 恵子	2年次・前期	演習・1単位	幼児・保育士必修

授業の概要 / Course Outline

保育者として、共生社会の実現のために特別支援教育・保育について説明する。内容は、講義形式と演習形式から展開される。講義形式では、障害や特別な支援を要する子どもの特性を保育者として必要な基本的な援助の方法を理論的に概説する。また演習形式では、幼児教育・保育現場の事例や課題に基づきワークや課題を取り組む。この授業を通じ、障害児の成長に向けた営みを連続体でとらえ、幼児教育・保育現場を意識し、特別支援教育・保育の知識と技能について理解を促す。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
障害児保育(特別な支援を要する子どもの保育)を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。	A-① B-②
様々な障害、個々の特性や心身の発達について理解をし、子どもの観察や支援の方法、環境構成等について学ぶ。	B-① C-①
障害児や特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解するとともに他の子どもとの関わりの中で育ちあう保育実践について理解を深める。	A-② C-②
障害児や特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働、現状と課題について理解する。	B-② C-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	30%	課題提出
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	70%	授業中に行う理解度テスト30%、振り返りコメント・授業への参加意欲40%

教科書 / Textbooks

ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育【シリーズ 知のゆりかご】小林 徹(編集), 栗山 宣夫(編集)/みらい

参考書 / Reference Books

厚生労働省/編(2018)『保育所保育指針解説』フレーベル館文部科学省/著(2018)『幼稚園教育要領解説』フレーベル館内閣府・文部科学省・厚生労働省/著(2018)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領幼稚園教育要領解説』フレーベル館

予習・復習 / Preparation・Review

授業スケジュールで示した授業内容について教科書の該当箇所を熟読し、授業に臨むこと。授業時に解説したポイントを復習し、簡単に説明できるようにすること。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks

毎回の授業冒頭に、前回の理解度テスト・振り返りコメントへのフィードバックを全体に行う。

特記事項 / Special Note

特別支援教育・保育に関わる情報にアンテナを張り、自分なりに意見を持てるよう意識すること。
【実務家教員】保育園施設長、子育て支援センター長としての経験をもとに、乳幼児期の特別支援教育・保育について学生と共に考える。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション 授業の進め方について、「違い」「同じ」を考える。
02	ライフステージを見通す 障害のある人の歩み、「発達」の順序性と方向性と個人差の理解。
03	障害と出合う 障害受容、保育者として「一緒に考え、一緒に歩む」という視点について考える。
04	障害児保育の基本① 障害児保育の6つのポイント、関わり方の基本「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」から理解する。
05	障害児保育の基本② 環境構成(物的・空間的・人的)のポイント、「個別の支援計画」と「個別の指導計画」を理解する。
06	障害の理解と支援① 発達障害:自閉症スペクトラム症の理解と支援方法を考える。
07	障害の理解と支援② 発達障害:注意欠陥多動症、限局性学習症の理解と支援方法を考える。
08	障害の理解と支援③ 知的障害、発達検査と知能検査の理解と支援方法を考える。
09	障害の理解と支援④ 言語障害、肢体不自由の理解と支援方法を考える。
10	障害の理解と支援⑤ 聴覚障害、視覚障害の理解と支援方法を考える。
11	障害の理解と支援⑥ 病弱、重症心身障害や医療的ケアの理解と支援方法を考える。
12	福祉と教育の両方の視点 福祉・教育の性格の違いを考える。
13	発達を目指したさまざまな連携 地域連携、多職種連携、小学校との接続について理解する。
14	これまでの障害児保育・教育 障害児保育-教育の歴史的変遷を理解する。
15	これからの障害児保育・教育とは インクルーシブ教育システムと合理的配慮について考える。全体のまとめ、振り返をする。